

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学甲状腺内分泌学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 29 年 11 月 福島県立医科大学医学部甲状腺内分泌学講座 鈴木眞一

【研究課題名】甲状腺結節の生物学的特性の解明

【研究期間】

平成 29 年 11 月～平成 34 年 10 月

【研究の意義・目的】

甲状腺の組織は、様々な異なる背景や分子メカニズムによって、それに応じた種類の腫瘍（甲状腺濾胞腺腫、腺腫様甲状腺腫、甲状腺乳頭癌、甲状腺濾胞癌、甲状腺髄様癌、甲状腺未分化癌など）が発生することが知られています。近年、画像検査（超音波検査、CT や MRI 検査、PET-CT など）の普及により、多くの甲状腺結節が偶発的に発見されるようになり、甲状腺結節に対する診断・治療方針に対しての議論が多くなされています。甲状腺結節が見つかった場合、それが悪性なのか良性なのか、または今後どのように進行するのかという性質（生物学的特性）は特定の遺伝子変異が関係していると考えられていますが、まだ解明されていない点も数多く残っています。今後は甲状腺結節の患者さんひとりひとりが、個別化された医療（個々の癌の分子生物学的特性に合わせた最適の治療を選択すること）を受けられるかが重要であると考えています。そのためには治療選択の指標となる分子マーカーの開発が期待されます。甲状腺結節の検体において、分子マーカーおよび臨床因子や予後との関連について検討します。

【研究の方法】

対象は研究期間内に当施設に受診・入院し、手術適応となる甲状腺結節の患者さんのうち、研究参加の同意が得られたかたです。また過去に甲状腺結節に対し手術を受け、本学に手術標本が保存されている患者さんも対象となります。試料は手術または生検で採取された検体の残余組織を使用するため、新たに切除や検査を行う必要はありません。その試料を用いて、甲状腺癌に特徴的なマーカーについて調べ、臨床データとの関連を解析します。また、生物学的特性を解明するために、臨床情報と臨床病理学的因子を後方視的に統計学的に解析することも含まれます。（過去の症例は 1986 年 1 月からの症例を対象とします。）

【研究組織】

（所属）甲状腺内分泌学講座 （職）主任教授 （氏名）鈴木眞一
（所属）長崎大学・原研医療 （職）教授 （氏名）山下俊一

【他の機関等への試料等の提供について】

検体の一部を共同研究先である長崎大学に送る場合もあります。

（所属）長崎大学・原研医療 （職）教授 （氏名）山下俊一
提供方法は郵送でおこないます。

【研究者が保有する個人情報について】

研究者が保有する個人情報に関し、研究対象者ご本人又は代理人の方が開示、訂

正、利用停止及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条例」に基づく手続きが必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には文書を交付しますが、交付に係る費用（コピー代等）をご負担いただきます。

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

○研究内容に関する問い合わせの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部甲状腺内分泌学講座 担当 岩館 学

電話:024-547-1284 FAX: 024-547-1916

E-mail:dte@fmu.ac.jp

○試料・情報を当該研究に用いられることについて拒否する場合の連絡先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部甲状腺内分泌学講座 担当 岩館 学

電話:024-547-1284 FAX: 024-547-1916

E-mail:dte@fmu.ac.jp